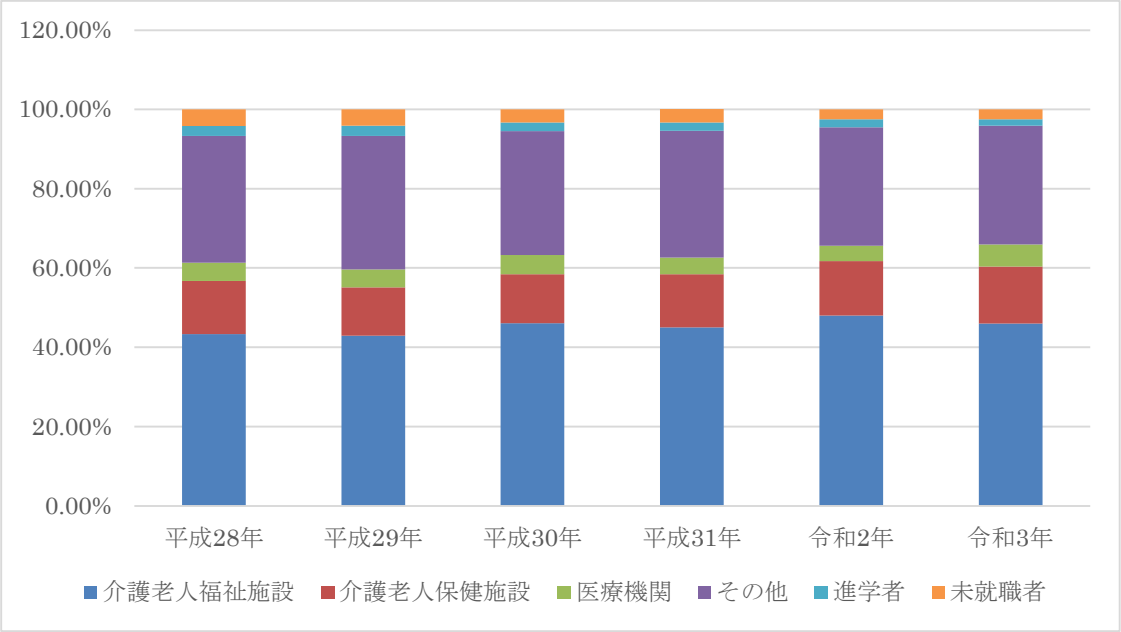
令和３年３月卒業生　進路調査報告

全国 333 校の令和 3 年 3 月卒業生を対象に進路調査を実施しました。今年度の回収率は 99.1%であり、卒業生数では 5,561 人（うち離職者訓練生（以下、「訓練生」）は 630 人、外国人留学生（以下、「留学生」）は 1,471 人でした。

〈卒業生進路先別比率　最近6ヵ年の推移〉～抜粋～　　毎年 3 月 31 日現在

区分	種別	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年
就職決定	介護老人福祉施設	43.3%	42.9%	46.1%	45.0%	48.0%	46.0%
	介護老人保健施設	13.4%	12.2%	12.3%	13.4%	13.7%	14.4%
	医療機関	4.6%	4.5%	4.9%	4.2%	3.9%	5.5%
	その他	32.0%	33.7%	31.2%	32.0%	29.9%	30.0%
	計	93.3%	93.3%	94.5%	94.5%	95.5%	95.9%
進学者		2.5%	2.6%	2.2%	2.1%	2.0%	1.6%
未就職者		4.2%	4.1%	3.3%	3.4%	2.5%	2.5%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%



〇卒業者の就職先傾向に大きな変化は見られません。

〇「介護老人保健施設」と「医療機関」への就職割合が、過去 6 年間の中で、最も多くなっています。

〇「進学者」の割合が、例年と比較して、減少傾向にあります。

【 調査項目に即した数字データ 】

＜卒業生数内訳＞

	卒業生数	左のうち国家試験受験者数	左のうち国家試験合格者数	合格率
卒業生数	5,561 人	5,273 人	4,209 人	79.8%
うち離職者訓練修了者数①	630 人	618 人	611 人	98.9%
うち外国人留学生数　②	1,471 人	1,353 人	514 人	38.0%
①、②以外	3,460 人	3,302 人	3,084 人	93.4%

○　訓練生の合格率はほぼ 100%ですが、留学生の合格率は 4 割以下と低水準です。

＜種別内訳＞

（単位：人）

	就職人数	うち訓練生数	うち外国人留学生数
介護老人福祉施設	2,565	193	634
介護老人保健施設	799	53	310
医療機関	304	37	140
自立支援施設	378	82	30
有料老人ホーム　福祉関連企業	381	42	184
居宅サービス関連事業 （訪問介護・入浴・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽなど）	527	133	135
児童福祉施設	140	8	1
社会福祉協議会　福祉事務所　公務員	82	14	0
保護施設（救護など）	11	5	0
その他（福祉分野以外）	129	15	4
合計	5,316	582	1,438

○　介護老人福祉施設の就職人数が多い傾向は例年と変わりません。

＜居宅サービス関連事業年次推移＞

（毎年 3 月 31 日現在、単位：人）

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
就職者数	639	736	599	547	505	527
うち訓練生	239	254	194	197	137	133
全卒業生数に占める割合	8.6%	8.9%	9.13%	7.16%	9.17%	9.48%

○　居宅サービス関連事業の就職者割合は、例年、全体の 1 割以内となっています。

訓練生の居宅サービスへの就職者数は、介護老人福祉施設の次に多い状態が続いています。

＜その他の就職先（記載のあったもののみ集計）＞

（単位：人）

小売業（飲食・販売など）	49
協同組合員、公務員ほか	10
事務職	9
教育機関（幼稚園など）	8
人材派遣会社など	5
建設業	4
製造業（食品・医薬品など）	3

金融機関	2
物流業	2
自営業	3
その他	5

＜進学内訳＞　　（単位:人）

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
大学・大学院 （福祉）	109	136	101	96	82	86
大学・大学院 （医療）	4	2	1	3	1	0
大学・大学院 （その他分野）	8	9	5	6	4	6
短大・専門学校（福祉）	21	18	9	5	6	4
短大・専門学校（医療）	34	37	18	13	10	5
短大・専門学校（その他分野）	20	15	7	3	7	5
合　計	196	217	141	126	110	106

○ 福祉系大学・大学院への進学者は昨年の 82 人（進学者全体の 74.5%）から 86 人（同 81.1%）に微増しました。

○ また、短大・専門学校への進学者が減少傾向にあり、本年は対前年で 9 人減少しています。

○ 訓練生全体のうち進学者が 1.3%、留学生全体のうち進学者が 0.7%となっています。

＜未就業者＞　　（単位:人）

	H29	H30	H31	R2	R3
未就業者数 （ ）は未就業者数/全卒業生数	342（4.1%）	219(3.3%)	205(3.6%)	138（2.5%）	139（2.5%）
うち訓練生 （ ）は未就業訓練生数/全訓練生数	114（7.7%）	81(7.0%)	87(8.9%)	46（6.4%）	13（2.1%）

○ 未就業者の割合は、卒業生全体の 2.5%で、近年は低い状況となっています。

○ 卒業した訓練生のうち未就業者は 2.1%と、昨年より激減しています。

○ 訓練生のうち、未就業者が 13 名、福祉分野以外への就職者が 15 名、進学者が 8 名おりますので、訓練生の介護職就職率は 94.3%であり、昨年と比べて増加しています。

○ 留学生のうち、未就業者が 11 名、福祉分野以外への就職者が 4 名、進学者が 10 名おりますので、留学生の介護職就職率は 98.3%です。

＜未就業者の就職希望状況 ＞　　（単位:人、（　）は昨年実績）

	就職希望あり	就職希望なし	合　計
未就業者数	67（63）	72（75）	139（138）
うち訓練生	27（25）	12（21）	39（ 46）
うち留学生	12（ 4）	11（ 6）	23（ 10）

○未就業者のうち、就職希望がありながら就職できなかった卒業生の割合は、昨年の 45.7%から 48.6%に微増しました。

○未就業者のうち、就職を希望しない卒業生の割合は 51.4%であり、昨年の 54.3%から減少しています。

＜就職を希望しない理由（記載のあったもの）＞　　（単位：人）

家事専念（出産・育児などを含む）	21
病気療養（家族の介護を含む）	19
進路検討中	18
帰国（外国人留学生）	8
就労支援センター利用	4
国家試験不合格（学業専念）	2
就労意欲減退ほか	3

○就職を希望しない理由の記載のあったもののうち、「家事専念」と「病気療養」で 56.3%と、半数以上を占めています。

○「就労支援センター利用」は、昨年度にはみられなかった記載理由です。

【 自由記述欄 】

＜就職傾向など特徴的事項（記載のあったもの）＞　　（単位：件）

就職先種別に関すること	67
実習先施設への就職	35
地元志向	29
複数資格取得に関連して（社会福祉士・保育士など）	23
就職活動に関して	20
コロナ禍の影響	20
外国人留学生に関すること	19
奨学金に関すること	11
その他（訓練生・起票方法）	5

○就職先種別に関しては、「高齢者施設」に関する記載が 28 件と最も多く、そのうち「介護老人福祉施設」が 12 件、介護老人保健施設を含めた「入所系施設への就職」が 7 件ありました。次に、「卒業生の多くが福祉関連へ就職」が 13 件、「障害者関連」7件、「医療法人系」5 件、「公務員・大規模法人」4件、「法人内施設への就職」2件、「有料老人ホーム」2件など記載がありました。その他、個別的事案が 6 件ありました。

○「実習先施設への就職が多い」という記載は多く、特に、「コロナ禍の影響」や「近年、増加傾向」とする記載が6件ありました。

○次に、「地元志向」という記載が多く、そのうち「自宅から通勤できる施設への就職」が 12 件、「県内就職」とする記載が 7 件ありました。

○「社会福祉士等関連」は 10 件、「保育士等関連」が 13 件の記載がありました。

○各校の就職活動での「サポート体制」など 12 件、「内定の時期」に関する記載が 8 件ありました。

○コロナ禍によって、ボランティア活動や施設見学への制約、学内実習への変更などの影響があり、就活時期の遅れや就職先種別の変更に繋がったとする記載が多くありました。

○外国人留学生に関しては、奨学金の保証人となった施設への就職内定者が多いという記載が 12 件、アルバイト先への就職 3 件、その他就職傾向に関する記載が 4 件、全 19 件の記載がありました。

○外国人留学生に限らず、日本人学生も含めた奨学金制度に関わる記載が全 11 件ありました。全体として、奨学金制度の利用が増えていることが窺われました。

－以上－